

# 経済為替ニュース

SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LIMITED FX NEWS

第2260号 2015年05月18日（月曜日）

## 《 still ... wait and see 》

今週は「寒波以降のアメリカ経済の実体」が徐々に明らかになると同時に、世界経済が回復に向かって踏み出したのか、それともまだ弱々しい状態なのかが少し分かる週になりそうです。各国、各地から様々な経済指標が出てくるため、ニューヨークの株などは S&P 指数が史上最高値を付けるなど「先取り」を始めていますが、ギリシャ、中国などあり一筋縄ではいかない気もする。

はっきりしているのは、「先進各国の中銀が、そろって出口戦略を討議するには時期尚早」ということです。アメリカのみならず、イギリス中銀、はては ECB にまで出口戦略の“観測”が出ている。しかしこれは、世界的な債券市場の“痙攣”との関連で語られていることで、いくら原油相場が安値から反発してきていると言っても、合理的正当性は薄い。個別の中銀の政策を子細に検討すれば、先頭を走っているアメリカの中銀（FRB）でさえ、「利上げを視野にすることが難しい状況」になっている。

「債券市場の“痙攣”」と書いたのは、長く債券相場が高い水準を続けた日本で、過去に数回繰り返されたことだからだ。慣れたようできて、低利回りと高価格に市場関係者は不安になり、時に一挙に利食いを入れる。マーケットは当然常に疑心暗鬼ですから。それが一種の「痙攣」のように見えると筆者はずっと考えてきた。今回起きたのは「世界の債券市場の痙攣」です。その後遺症は各国の利回りの高さにまだ残っている。落ち着くには時間がかかるし、もしかしたらその間に今までの相場観を若干変える出来事が起きるかも知れない。

しかし、世界的に「資源国の通貨が上がり始めた」「それは原油高を背景としている」（日経の記事）としても、「中国の乗用車販売が昨年同期を下回った」「中国のスマホの販売も昨年を下回っている」と聞けば、本当の大きな波＝資源ブームが来たとは思えない。今はマーケットセンチメントも「綱引き」の状態だと思う。欧州にはギリシャという大きな問題も残っている。こちらは「時間との競争」の意味合いが強い。

一つ注目されるのは ECB 主催で今週後半に3日間に渡って会議（「欧州のインフレと失業」に関して）が開かれることだ。開催地はポルトガルのシントラ。EU 域内ばかりでなく、多くの地域から中銀トップが参加すると伝えられる。少なくとも何人かの中銀総裁の発言があり、今後の政策の方向性が個別に語られ、そして世界全体のトレンドが明らかになるはずだ。加えて週の後半は「米5月製造業 PMI 速報値」など数多くの経済指標が発表になる。

先週も書きましたが、「冬の間の経済指標の悪さ」が一時的なものか、それとも昨年と同様に回復基調に直ぐに戻るのかは、今後のアメリカ経済、FRB の金融政策を考える上で非常に重要です。ニューヨークの株の動きを見ていると、依然として「"Goldilocks"」を期待している。しかしマーケットの動きを見ても「確信などない。恐る恐る」の印象。多分、出てくる経済指標もそれほどクリアカットにトレンドを示すものではないのでしょうか。そういう意味では、「今週で霧が晴れる」というものでもない。

- - - - -

今週の主な予定は以下の通りです。

- |              |  |
|--------------|--|
| 0 5月18日（月曜日） | 3月機械受注<br>中国4月主要70都市新築住宅価格<br>4月発受電電力量<br>4月マンション市場動向<br>3月第3次産業活動指数<br>4月投信概況<br>米5月NAHB住宅市場指数      |
| 0 5月19日（火曜日） | 4月百貨店売上高<br>インドネシア中央銀行が金融政策決定会合<br>独5月ZEW景気予測指数<br>米4月住宅着工   |
| 0 5月20日（水曜日） | 1~3月期GDP速報値<br>4月訪日外国人数<br>18日時点の給油所の石油製品価格<br>4月スーパー売上高<br>4月コンビニ売上高                                |
| 0 5月21日（木曜日） | 4月食品スーパー売上高<br>4月パソコン国内出荷実績<br>米4月中古住宅販売<br>米5月製造業PMI速報値<br>米5月フィラデルフィア連銀景気指数<br>米4月コンファレンスボード景気先行指数 |
| 0 5月22日（金曜日） | 米4月半導体製造装置BBレシオ<br>4月電力需要実績<br>4月粗鋼生産<br>金融政策決定会合の結果発表<br>黒田日銀総裁会見<br>独5月Ifo企業景況感指数                  |

## 米4月消費者物価

### 《 have a nice week 》

週末はいかがでしたか。相変わらず夏のような天気が続いています。でも雨も降っているので、それほど異常には感じられない。この週末再び弁慶橋に行ったら、お堀の水位が15センチくらい上がっていました。ちゃんとお湿りがあったということです。

- - - - -

ところで先週アップル・ウォッチをゲットし、その機能を確認している最中と書いたのですが、今日はその後の印象を少し。事前の設定は二つあります。言語選択と「どちらの手に装着するのか」です（これは省電力に関連する）。バッテリーは気にしていたのですが、朝（100）から使い始めて夜寝るときはほぼ30前後。ということは、「寝ている間に充電」ということで、そう決めてしまえば気にならない。

1. 私には役立つマシンであると考えられる。基本設定次第ですが、デフォルト画面で「日時 時間」「今日、明日の予定」「温度」「この日これまでの運動量」、それにどうでも良いが「日没」などの情報が一覧出来るのは良い
2. 運動量を知らせてくれる指標は三つあって、「エクササイズ」「ムーブ」「スタンド」の三つで、「ムーブ」はカロリーで表示される。「スタンド」はあまり意味がない。机仕事の人が立ち上がった回数を計測している。ナイキが運動力を計る単位として fuel だけなのに比べて、充実している
3. 画面上でゲットできる情報は多い。「ウォール・ストリート・ジャーナル」「ニューヨーク・タイムズ」「ワシントン・ポスト」「ブルームバーグ」などがイントロを読めるし、メールのチェックも可能。ラインも新規はチェックできる
4. カメラやミュージックの起動もウォッチ上で可能で、よって写真はタイマーや自撮棒がなくてもタイミングを見ての撮影が可能だし、音楽も選曲できる
5. 電話はスマホを近くに置いておくだけで（例えばバッグの中）、ウォッチだけでかなり明確にしゃべり、そして聞くことが可能である。だから例えば「キーボードを打ちながらでも電話が出来る」という状況になる。車の中で車にある tel 機能を使うか、ウォッチの電話機能を使うかを選択できる。番号はアドレスの中から簡単に選べる（履歴を含めて）
6. その他「天気」「スカイプ」「株価」「目覚まし」「ストップ・ウォッチ」「remote」「MLB」など iPhone 上で使用できるアプリのかなりの部分はウォッチ上で使用可能である
7. だからまずは「fuel からウォッチへの移行」を目的としている私としては「役立っている」と言えるし、その他にもいろいろなことをしてくれるので、「4万円を出しても pay している」と言える。

ただし、今後の展開として希望することは多い。以下のような点である。

1. Apple pay のような機能でもいいが、私がドコモ・スマホに入れている Suica、ID、エディの三電子支払い機能を搭載してもらって、Watch をかざすことによる料金支払い（タクシーや、電車の乗り降りや店舗での）を可能にして欲しい
2. セキュリティーを高めた上で、ウォッチによる家の解錠、施錠を可能にして欲しい。何故かというと、男は夏になると「モノを入れられるスペース（ポケットなど）」が極端に少なくなる。特に Running している時にはカギを持つのも面倒。というか邪魔。だからウォッチが施錠、解錠をしてくれればナイス
3. 各自動車メーカーが出している車のアプリ（遠方からのロック、エアコンの稼働、ナビ情報の送付など）の Apple Watch への移行。もっと言えば、ウォッチで車を動かしたい。だってキーレスキーは、大きくてポケットの中で邪魔

などです。むろん、これから出てくるアプリで徐々に可能なことが増えてくると思うが、最終的にはスマホに集まっている各種の機能が、可能な限りウォッチに集まるのが望ましいと思う。むろんそれによるリスクはありますが、持ち物が圧倒的に減少する。そしたら便利だろうと思う。

それでは皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は三井住友トラスト基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、三井住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》